

## 令和4年度「教職員等環境教育・学習推進リーダー養成研修」の開催について ～SDGs達成に向けた教育推進リーダー育成のための環境教育・ESD実践講座～

環境省では、文部科学省の協力の下、持続可能な社会の構築を目指して、学校や地域で環境教育・ESDを実践・推進するリーダーたる人材を育成することを目的に、本研修を開催します。

### 1 研修の趣旨

環境教育は、「持続可能な社会の構築」を目指して、学校、地域、家庭等のあらゆる場において行われるものです。

私たちは、環境・経済・社会に関わる複合的な危機や様々な課題に直面しており、環境教育において、持続可能な社会の構築に向けた多様な視点からの取組が求められています。国内外での潮流や、複雑化する環境・経済・社会の課題の統合的な解決に向けて、環境教育の取組においても、これまで以上にESD（持続可能な開発のための教育）の実践を通して、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向かう意欲と実践力・行動力を育成していく必要があります。

学校においては、学習指導要領に基づき、持続可能な社会の創り手となることが期待される子供に、生きる力を育むに当たって、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の実現に向けた授業改善を図り、自然環境や資源の有限性等の中で持続可能な社会をつくる等の資質・能力を教科等横断的な視点で育成するとともに、それらを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図ること（カリキュラム・マネジメント）が求められています。

地域においては、環境教育等促進法の基本方針で、持続可能な社会づくりに主体的に参加する意欲を育むための「体験活動」を取り入れた環境教育プログラムが重要視されています。こうした「体験活動」の意義を踏まえて、地域や民間企業の「体験の機会のある場」を「地域や国を越えた交流の拠点」と位置付け、「地域循環共生圏」の創造に寄与していきます。体験活動は、学校教育だけでなく、企業等の社員教育や、地域住民への普及啓発等にも有効です。

本研修は、これらを踏まえ、持続可能な社会の構築を目指し、さらにSDGsという世界共有の未来の価値を相互に磨き合う協働・共創を通して、学校や地域における質の高い環境教育・ESDを実践・推進するリーダーとなる人材を育成していくことを目的に開催します。

### 2 研修の内容

本研修には、学校におけるカリキュラム・マネジメント等の実践力向上を目指す「カリキュラム・デザイン・コース」と、環境教育における体験活動の実践力向上を目指す「プログラム・デザイン・コース」を設けています。

#### ■カリキュラム・デザイン・コース

学校や地域において、教科横断型で地域共生の視点を取り入れた環境教育・ESDを実践・推進していくリーダー人材を育成することを目的とします。

今年度は、集合型研修①・②と講師派遣型研修の2形態で実施します。

## 集合型研修①（オンライン開催）

環境教育・ESD のカリキュラムをデザインする力を養うことができるよう、講義とグループワーク（各教科等と関連させた環境教育・ESD の指導計画表 [ESD カレンダー等] を作成するための演習）で構成します。研修はオンライン会議システム『ZOOM』を使用して実施します。

※ 講義のみの参加も可能です。

※ グループワークでは、Google スライド/スプレッドシートを使用します。

※ オンライン会議システム受講用 URL は、お申込み後にお知らせいたします。

●対象：学校関係者（小・中・高校等の教職員）、教育委員会、地方公共団体など環境行政に携わる人

●日程：

〔第1回〕令和4年9月23日（金・祝）

> 講義 義：10:00～12:00（定員100名程度）

> グループワーク：13:00～17:00（定員40名程度）

## 集合型研修②（対面式）

グループワーク（各教科等と関連させた環境教育・ESD の指導計画表 [ESD カレンダー等] を作成するための演習）を実施します。

※ 参加に当たり、研修開催日までに、YouTube 動画視聴による事前学習（約2時間）を行っていただきます。

●対象：学校関係者（小・中・高校等の教職員）、教育委員会、地方公共団体など環境行政に携わる人

●日程・場所：

〔第1回目〕令和4年11月5日（土） 13:00～17:30（定員100名程度）

会場：TKP 東京駅カンファレンスセンター

〔第2回目〕令和4年11月23日（水・祝） 13:00～17:30（定員100名程度）

会場：新大阪丸ビル別館

※ 新型コロナウイルスの感染状況によっては、延期または中止となる場合があります。

## 講師派遣型研修

学校、教育委員会、地方公共団体等からの希望を受け、講師を派遣して集合型研修と同様の研修会を実施します。ホールスクール・アプローチの向上にお役立てください。

●対象：学校、教育委員会、地方公共団体など、全国10ヶ所

●日程・内容：派遣先のご希望に応じて柔軟に対応します。メール【[esd-kensyu@jeef.or.jp](mailto:esd-kensyu@jeef.or.jp)】でご相談ください。

●講師派遣型研修参加申込みについての注意点：

- ・研修参加者が原則として20名程度以上確保できること。
- ・研修時間を3～6時間程度確保できること。
- ・研修会場（教室等）の確保 および 新型コロナウイルス対策を講じられること。

※ 講師派遣、参加者への資料送付等に係る、研修参加側の費用負担はございません。

●本研修の活用例

- ・学校全体での取組を推進するための学校での研修会や勉強会
- ・地域単位で環境教育やESDを推進するための教育委員会等主催の研修会や複数の学校同士による合同研修会
- ・地域が連携した環境教育・ESDを推進するための教職員、行政職員、地域の環境教育関係者等を対象とした地方公共団体や教育委員会主催の研修会

## 講 師 (50音順)

石田 好広 氏（目白大学人間学部児童教育学科 教授）

岡本 弥彦 氏（岡山理科大学教育推進機構教職支援センター 教授）

小澤 紀美子 氏（東京学芸大学 名誉教授）

關口 寿也 氏（東京都多摩市立連光寺小学校 校長）

棚橋 乾 氏（全国小中学校環境教育研究会 顧問）

松井 孝夫 氏（尾瀬高校活性化委員会 専門委員）

## ■プログラム・デザイン・コース

環境教育等促進法に基づき、都道府県知事等によって認定された「体験の機会の場」において、体験型環境教育の質の向上や専門的な人材育成が推進されることを目的に設立された「体験の機会の場」研究機構 (<https://esd-place.org/>) と連携して行います。持続可能な社会を構築するための取組と環境教育・ESDとの関係を、五感を使って体験し、多様な主体と共感を分かち合いながら、体験活動を企画・実践するための視点や双方向型のコミュニケーションについて学びます。

また、本年度も「体験の機会の場」に加え、国立公園における研修を実施します。

●対象：NPO/NGO、民間企業、行政関係者、学校教職員、大学生・大学院生等の環境教育や体験活動、地域づくりに関心のある方（各回定員30名程度）

●日程：実施内容は以下の通りです（研修時間6時間程度）。

各研修の正式な日時および詳細等はWEBサイトにて随時更新していきます。

※各回、近隣の主要な駅から送迎バスを用意する予定です。

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、延期または中止となる場合があります。

●各種研修案内

1. 「体験の機会の場」海岸漂着物で作るクラフトアート

【日程】令和4年10月19日(水)

【場所】株式会社中特ホールディングス（山口県周南市）

2. 「体験の機会の場」株式会社オガワエコノス 本山工場  
【日程】令和4年11月9日(水)  
【場所】株式会社オガワエコノス(広島県府中市)
3. 「体験機会の場」サンデンフォレスト  
【日程】令和4年12月14日(水)  
【場所】サンデン株式会社(群馬県前橋市)
4. 「体験の機会の場」モビリティリゾートもてぎ  
【日程】令和5年1月12日(木)  
【場所】ホンダモビリティランド株式会社(栃木県芳賀郡茂木町)
5. 「体験の機会の場」市田プラント・KAYAMA ファーム  
【日程】令和5年1月20日(金)  
【場所】加山興業株式会社(愛知県豊川市)
6. 「体験の機会の場」石坂産業株式会社 くぬぎの森環境塾  
【日程】令和5年2月10日(金)  
【場所】石坂産業株式会社(埼玉県入間郡三芳町)
7. 「富士箱根伊豆国立公園」NPO 法人ホールアース研究所  
【日程】令和4年11月27日(日)  
【場所】田貫湖ふれあい自然塾(静岡県富士宮市)
8. 「大雪山国立公園」NPO 法人大雪山自然学校  
【日程】調整中  
【場所】調整中

### 3 申込方法

#### 【オンライン申込み】

運営事務局の Web サイトにある「お申込みフォーム」に必要な事項を御記入の上、送信してください(※講師派遣型研修のみ、メールで御相談ください)。

研修公式 Web サイト：[https://www.jeef.or.jp/activities/esd\\_teacher/](https://www.jeef.or.jp/activities/esd_teacher/)

#### 【申込期限】

原則、各研修開催日の1週間前まで

※ 原則、先着順での受付とし、定員に達し次第、募集を締め切ります。

#### 【研修受講前の準備について】

カリキュラム・デザイン・コースの研修受講においては、事前に御記入いただきたい用紙(事前課題シート)がございます。詳細については、お申込み後に送付する「研修のしおり」を御参照ください。

#### 【その他】

- ・受講料は無料です。オンライン視聴における通信料金等は自己負担となります。また、研修会場や集合場所までの交通費や食費、宿泊費等も自己負担となります。
- ・参加者には後日、本研修のフォローアップのため、本研修で得た学びをどのように活用されたか等についてお聞きいたします（実践事例などがあれば、本研修 Web サイト、環境省 Web サイト、各種研修等を通じて、取組紹介をさせていただく場合があります）。
- ・感染症予防対策の観点から、研修実施中はマスク着用の御協力をお願い致します。
- ・日程変更やキャンセルをする場合は、必ず御連絡いただきますよう御協力をお願い致します。

### **【研修に関してのお問合せ】**

研修運営事務局： 公益社団法人日本環境教育フォーラム内（担当：加藤（有）・清水）

URL： [https://www.jeef.or.jp/activities/esd\\_teacher/](https://www.jeef.or.jp/activities/esd_teacher/)

MAIL： [esd-kensyu@jeef.or.jp](mailto:esd-kensyu@jeef.or.jp)

TEL： 03-5834-2897      FAX： 03-5834-2898